



アオハコベ	<i>Stellaria uchiyamana</i> Makino var. <i>apetala</i> (Kitam.) Ohwi	絶滅危惧Ⅱ類
		ナデシコ科
選定理由	個体群が極めて小さく生育面積が極めて限定される。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	ヤマハコベの花弁のない変種。茎は長く地を這い、節部から根を出し、上部は斜上し、分枝毛や星状毛があり、高さ20-30cmになる。葉はほとんど柄がなく、広卵形で先はとがり分枝毛や星状毛がある。	
生態的特徴	多年草で山地の林下に生える。	
分布状況	本州中部～九州に分布する。	
減少要因	本県はアオハコベの分布の東端になる。開発などによって生育環境が減少している。	
保全対策	生育地の生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	北川政夫(1982)ナデシコ科. 日本の野生植物1 離弁花類. 平凡社	

文責:千藤克彦